

[標準様式例7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	H 2 7 水 文 観 測 精 度 向 上 検 討 業 務
業 務 概 要	本業務は、対象となる流域・河川の特性を踏まえて、水文観測に関する品質や精度の維持向上、高度化、効率化を図るために、今後の水文観測体系のあり方について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 越智 繁雄 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成27年5月1日
契 約 業 者 名	(一財) 河川情報センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町1-3 ニッセイ半蔵門ビル
契 約 金 額	¥ 2 1, 7 6 2, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	¥ 2 1, 7 6 2, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人河川情報センターは、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区
業 種 区 分	土木コンサルタント関係
履 行 期 間 ( 自 )	平成27年5月2日
履 行 期 間 ( 至 )	平成28年2月29日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

### 備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。